

科目番号		科目名			英語名	
HE31021		細胞検査学			Cytopathology	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室	
2 年	2 単位	春 C 学期	火・水曜日	3・4 時限	4B116	
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）						
野口雅之、水口剛雄、石井 良征、上杉憲子、近藤譲、坂下信悟、佐藤泰樹、藤原広美、中川智貴、村田佳彦 （研究室・連絡先・オフィスアワー：病院病理部・野口雅之・PHS 3750）						
学習目標						
細胞検査（細胞診）は、患者への侵襲を最小限にして病理診断する液性材料を用いた検査法である。細胞検査学は、その基礎について学ぶものであり、検体の採取や処理法、染色法、細胞像による良性・悪性の判断、さらには病気や臓器による細胞像の違いについて理解し、細胞診による判断の基礎を学ぶ。細胞診はがん検診でのスクリーニングとして行われることも多いが、疾患の治療効果判定、経過観察、予後の推定などにも広く用いられている。医療現場での細胞診の意義を理解し、その将来を展望する。						
使用言語（ ☒ してください）： ☒ 日本語・ ☐ 英語・ ☐ バイリンガル						
	日程	担当教員	授業概要			
1	7/4	野口	細胞診 総論(野口)			
2	7/5	上杉	細胞診の検体処理と基本的な所見の取り方(上杉)			
3	7/11	野口、坂下	呼吸器 腫瘍組織(野口)、 呼吸器 細胞診(坂下)			
4	7/12	上杉	泌尿器(腎、膀胱、前立腺) 腫瘍組織(上杉)、 泌尿器 細胞診(上杉)			
5	7/19	石井、佐藤	皮膚 組織(石井)、 リンパ腫 組織(佐藤)			
6	7/25	水口、上杉	婦人科 腫瘍組織(水口)、 婦人科 細胞診(上杉)			
7	7/26	近藤	乳腺・甲状腺 腫瘍組織(近藤)			
8	8/1	近藤、上杉	乳腺・甲状腺、リンパ腫 細胞診(近藤)、 体腔液 細胞診(上杉)			
9	8/2	柴	免疫染色の理論と実際(柴)			
10	8/8	柴	細胞診材料を用いた遺伝子解析(PCR、FISH)(柴)			
単位取得要件		8割以上の授業出席と試験において合格点に達すること。				
使用教科書・教材		細胞診を学ぶ人のために（医学書院）				
成績評価		学期末の筆記試験などにより判定。				
備考：						
悪性細胞について正しいイメージを持つこと。						
細胞診が医療現場でどのように役立っているかについて理解すること。						